

取扱説明書

保証書別添

HITACHI
Inspire the Next

日立LED照明器具

型式

LEC-AAP08KCS
LEC-AAP06KCS

プルスイッチ式

LED シーリング



このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→ (P.2)をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
各部のなまえ・付属品	3

使いかた

開梱後の器具の取り出しかた	3
取り付ける前に	4
器具の取り付けかた	4
点灯・消灯のしかた	5
器具の取り外しかた	6

お手入れ

お手入れ	7
------	---

お困りのときは

別売部品	7
仕様	7
保証とアフターサービス	8

「日立の家電品お客様サポート」のご利用

スマートフォンやパソコンで所有する家電品を一覧管理でき、お知らせやサポート情報などが入手できます。

サポート内容

- ▶ 家電品の登録※1
- ▶ お知らせ
- ▶ よくあるご質問
- ▶ お問い合わせ

① コードを読み取る



日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従ってお客様サポートのご利用や家電品の登録※1を行う



※1 お客様サポートへの会員登録が必要です。(無料)
保証書に記載されている型式を入力してください。

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

●ご利用の環境によっては、コードの読み取り、ページの表示ができない場合があります。

●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

●ホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

 実行していただく「指示」内容のものです。

警告

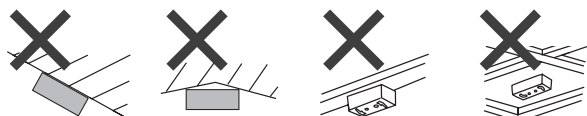
 **このような場所には取り付けない**
※器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



× 押すと簡単にたわむ補強のない天井

× ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリング



× 傾斜天井 × 舟底天井 × 竿縁天井 × 格子天井

※竿縁天井は、別売りのアダプタRCA01を併用することで取り付け可能となる場合があります。→(P.7)

 ●器具の分解や改造、構成部品の交換はしない
※火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●器具のすきまやコネクタに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない
※感電・故障の原因となります。

 **このような配線器具には取り付けない**
※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



× 欠け 割れ 破損しているもの

× ガタつくもの

× 19mm未満 使用不可

× 角形・丸形 引掛シーリング

× 10mm未満 使用不可

× 引掛埋込ローゼット

このような場合は、電気工事店に依頼して配線器具を交換してください。

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない
※過熱し、火災の原因となります。

●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない
※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)
※過熱し、火災の原因となります。

●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る
※電源を切らないと感電の原因となります。

●スイッチ引きひもを強く引いたり、無理な力を加えない
※器具の落下によるけが・スイッチ故障の原因となります。

●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

●器具の真下にストーブなどを置かない
※過熱し、火災の原因となります。

●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)
※火災・感電の原因となります。

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない
※やけどの原因となります。

●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない
※器具の落下によるけがの原因になります。

●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない
※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

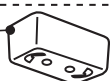
使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にきしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入ることがあります。

各部のなまえ・付属品 開梱後の器具の取り出し方

- 下図を参照して、各部品をお確かめください。
- ※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

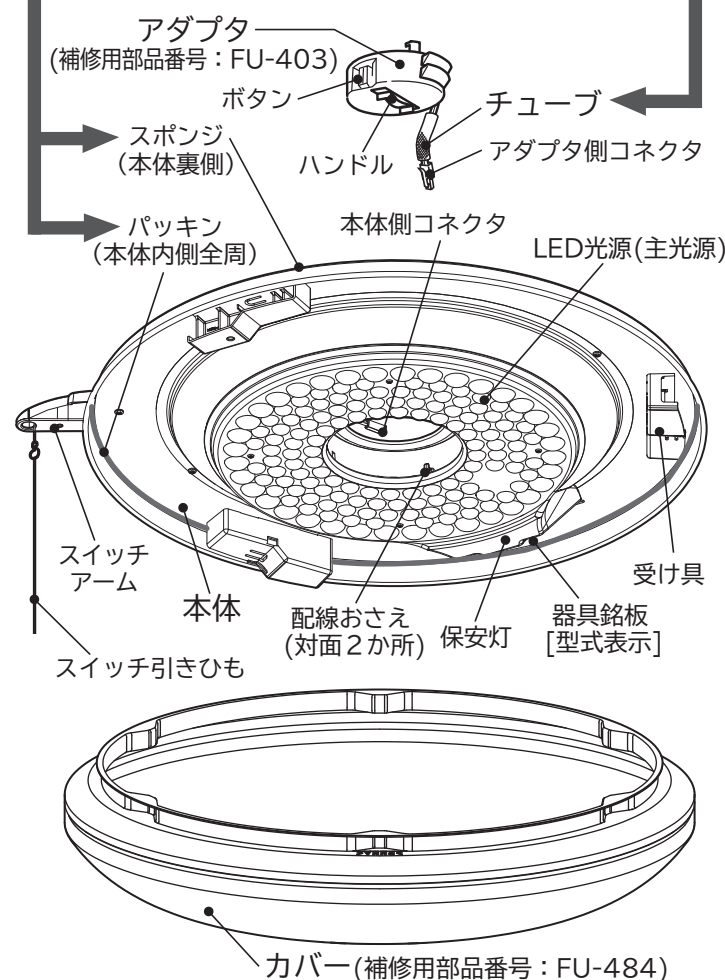
配線器具(角形引掛シーリングなど)は
付属しておりません。



●本体裏側のスポンジや
パッキンををはがさない
※器具のガタつきや回転
防止、防虫のためです。



●チューブを
はずさない
※万一、コネクタ部から発火
した際の延焼防止です。



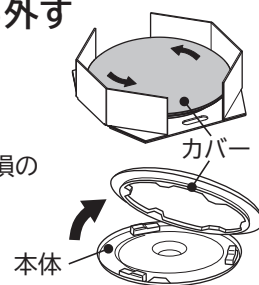
器具は包装用部品に固定されていますので、
下記に従い取り外してください。
無理に外すと器具部品の破損などの原因となります。

1

カバーを本体から外す

カバーを左に回し、
ゆっくりとカバーを
持ち上げる

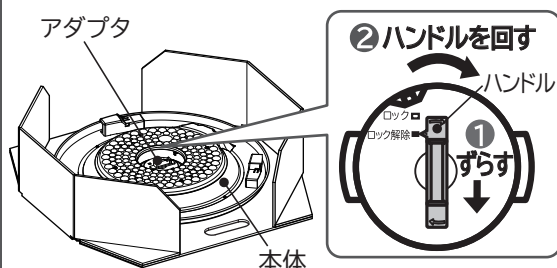
※無理に外すとカバー破損の
恐れがあります。



2

本体を外す

- ① アダプタのハンドルを「ロック解除」の
位置にずらす
 - ② アダプタをつかみ、ハンドルを右に回して
アダプタと本体を取り出す
- ※アダプタが本体の奥に入って取り出しにくい
ときは、本体を取り出したあと、包装用部品の
裏側などからアダプタを取り出してください。



ご注意 この部品は、包装用部品です。
器具の取り付けには使用しません。

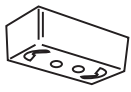
※廃棄するときは、プラスチックごみとして分別
廃棄してください。



取り付ける前に

- 天井にこのような配線器具がついている場合は、電気工事なしで器具が取り付けられます。
ただし、このような配線器具でも取り付けてはいけないものがあります。
→ (P.2)「△警告 このような配線器具には取り付けない」

- 天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する
必ず守る ※工事には資格が必要です。



角形・丸形引掛シーリング



引掛埋込ローゼット



高荷重形引掛シーリング・ローゼット



器具の取り付けかた

1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



●器具の取り付けの際は、電源を切る

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。
また、コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を傷めるおそれがあります。

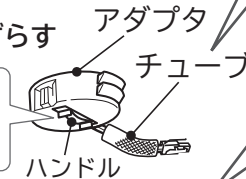
2

配線器具にアダプタを取り付ける

- ① アダプタのハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認する
なっていない場合は、「ロック解除」の位置にずらす

ハンドルの「◀」マークが「ロック解除」の位置

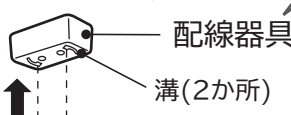
① ずらす



- ② 配線器具(角形引掛シーリングなど)の溝にアダプタの爪を入れる

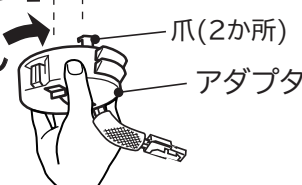
※必ず同梱しているアダプタを使用してください。

② 入れる



- ③ 右方向にいっぱいまで回す
●ロックが掛かり固定されます。

③ 右回し



●チューブをはずさない

禁止 ※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。



●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する

必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

アダプタを取り外す場合は

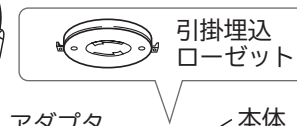
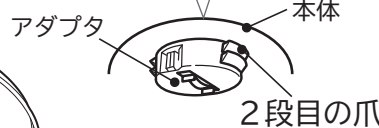
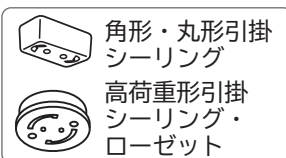
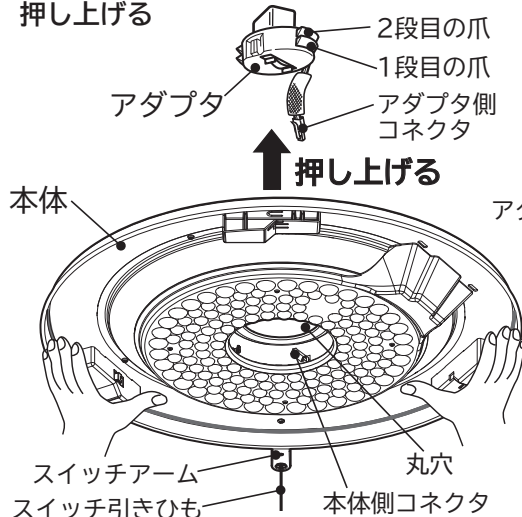
- ボタンを押しながら、左方向へ回してください



3

アダプタに本体を取り付ける

本体を両手で持ち、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通しながら、アダプタの1段目の爪または2段目の爪(両側2か所)に掛かるまで押し上げる



●本体に掛かる爪の位置が配線器具で変わります左図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する

必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



●スイッチ引きひもを操作する向きにスイッチアームの向きを合わせて本体を取り付けてください

必ず守る ※本体を取り付けたあとに、本体を回転させると本体裏側のスポンジがはがれるおそれがあります。

4

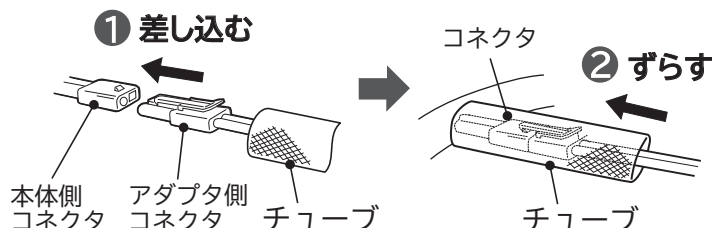
ハンドルを「ロック」の位置にずらす



5

コネクタを接続する

- ① アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む
- ② チューブをずらしてコネクタをおおう



禁止

●コネクタや電線を無理に引っばらない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。



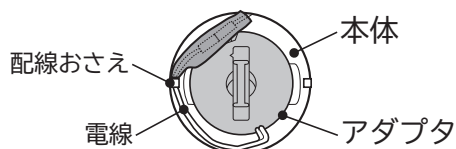
注意

●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実におおう

※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。

6

アダプタ側の電線を、配線おさえに引っ掛ける



禁止

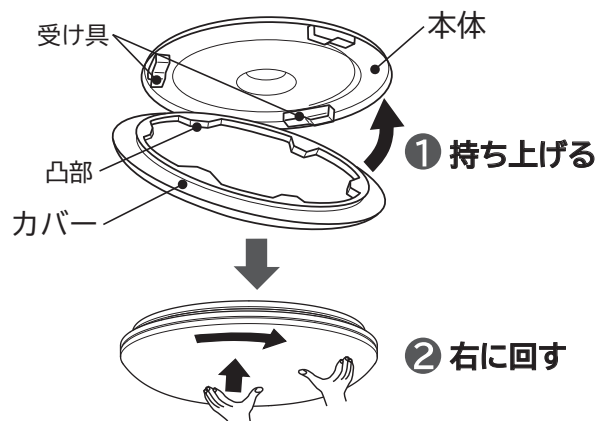
●コネクタや電線を無理に引っばらない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

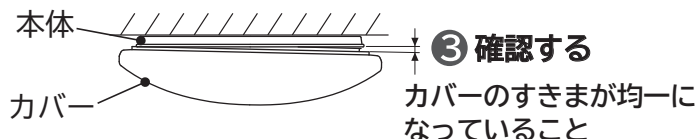
7

カバーを本体に取り付ける

- ① 本体の受け具横にカバーの凸部を合わせ、本体内部にカバーをあてて、カバーを持ち上げる
- ② カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして止まるまで右に回す



- ③ カバーが傾いて取り付けしていないか確認する



必ず守る

●取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、外れないことを確認する

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



禁止

●カバーを正しく取り付け後は、カバーを無理に回さない

※器具の破損、落下によるけがの原因になります。

点灯・消灯のしかた

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を入れ、スイッチ引きひもを引くと下図のように点灯状態が切り替わります。
※点灯しない場合は、アダプタのコネクタの接続を確認してください。



※全灯の約60%の明るさで点灯します。

器具の取り外しかた

1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

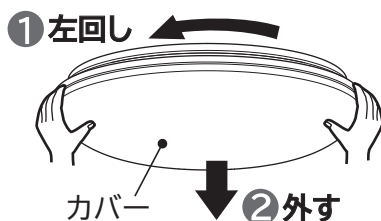
※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



●器具の取り外しの際は、電源を切る

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

2 カバーを左に回して取り外す

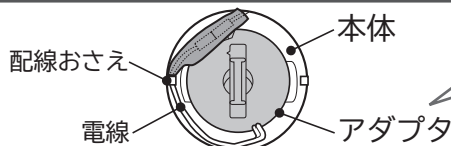


接触禁止

●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する

※やけどの原因となります。

3 アダプタ側の電線を、配線おさえから取り外す



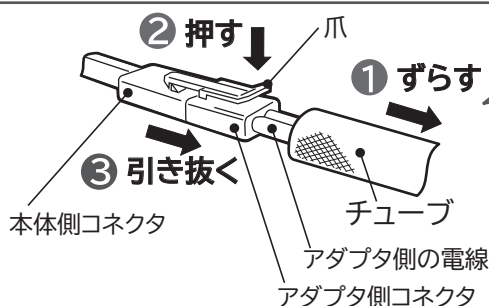
必ず守る

●電線を取り外す際には、配線おさえに触れない

※手をけがする原因となります。

4 コネクタを外す

●チューブをアダプタ側の電線にずらし、アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



禁止

●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っ張ったりしない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

5 ハンドルの「◀」を「ロック解除」の位置にずらす



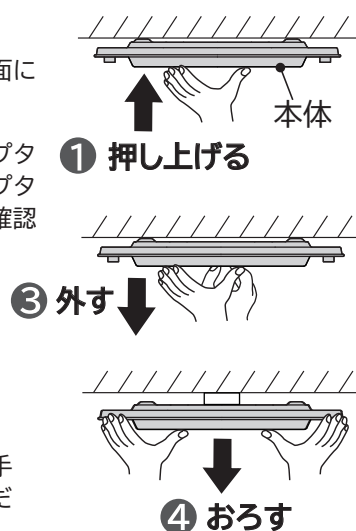
6 本体を外す

① 本体の中央部分を片手で天井面に押し上げてください。

② 本体を押し上げながら、アダプタのハンドルを右に回し、アダプタの爪から本体が外れることを確認してください。

③ アダプタのハンドルを右に回したまま、ゆっくりと本体を下げ、アダプタから外してください。

④ アダプタから本体が外れたら、ハンドルから手をはなし、両手でゆっくり本体をおろしてください。



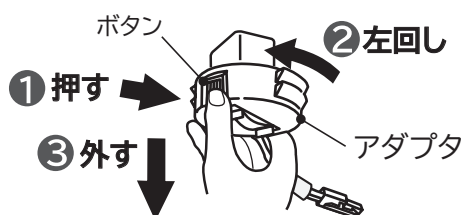
必ず守る

●本体が落下しないように確実に本体を押さえながら作業する

※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

7 アダプタを外す

●ボタンを押しながら左方向に回してください。



禁止

●アダプタを無理やり回さない

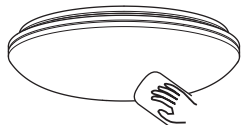
※角形引掛シーリングなどの破損の原因となります。

※器具の取り付けかたは → (P.4~5)をご参照ください。

お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けん水に浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)



- お手入れの際は、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。



- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない



器具取り扱い上のご注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているの

で、触らない

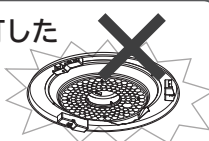
※やけどの原因となります。



禁止

- カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



別売部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

●竿縁天井用シーリングアダプタ(RCA01)

希望小売価格 1,540円(税込)

※上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。



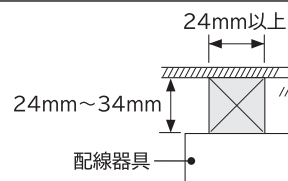
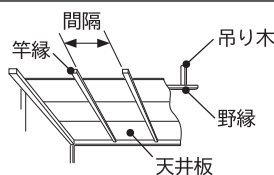
アダプタ (4個)



棒パッキン (2個)

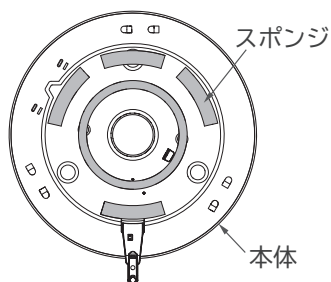
【竿縁天井に取り付けられる条件】

- 竿縁の間隔が 250mm 以上である
- 竿縁が天井裏で補強されている
- 竿縁の高さが右記の範囲内である

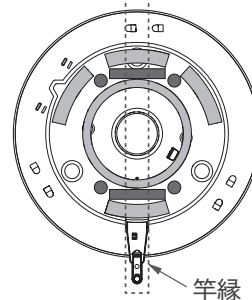
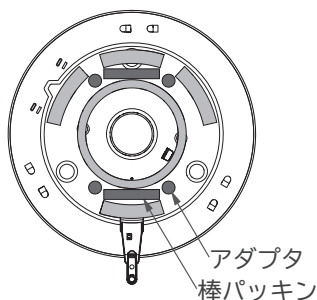


【取り付けかた】

- ①床やテーブルに傷が付かぬよう布などを敷き、その上に本体を裏返しにしてください。
- ②下図の位置にアダプタ (4か所) と棒パッキン (2か所) を貼り付けてください。
- ③竿縁を下図の位置に合わせ、4 ページ「器具の取り付けかた」の手順に従い取り付けてください。



[本体背面]



※高さ調節などの詳しい取り扱いについては、アダプタ RCA01 に同梱されている取扱説明書をお読みください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格消費電力 (全灯時)	定格電圧	定格周波数	保安灯点灯時 消費電力
LEC-AAP08KCS (～8畳)		31.6W	交流 100V	50/60Hz 共用	約1W
LEC-AAP06KCS (～6畳)		26.6W			

保証とアフターサービス

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

保証書(別添)

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には有料修理にさせていただきます。

- (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
- (ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用または車両、船舶へのとう載》に使用された場合の故障または損傷。

保証期間	お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：5年、本体：1年です。(詳しくは保証書をご覧ください。)
------	--

●24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
--------	---

保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
---------------	-------------------------------------

使用中に異常が生じたときは

故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタも一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

- 1.型式：LEC-AAP08KCSなど
- 2.症状：できるだけ詳しく

「ご相談窓口」

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03) 3502-2111